



2024年4月30日

各位

会社名 ハリマ化成グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード番号 4410 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員
経理グループ長 上辻 清隆
(TEL. 06-6201-2461)

2024年3月期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2024年1月31日に公表しました2024年3月期連結会計年度(2023年4月1日～2024年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 業績予想値と決算における実績値との差異について

2024年3月期連結会計年度業績予想と実績の差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:百万円, %)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 93,000 | △450 | △450 | △800 | △33.01円 |
| 今回発表実績(B) | 92,330 | △211 | △275 | △1,161 | △47.96円 |
| 増減額(B-A) | △670 | 239 | 175 | △361 | — |
| 増減率(%) | △0.7 | — | — | — | — |
| (ご参考)前連結会計年度実績 (2023年3月期) | 94,510 | 1,706 | 2,541 | 885 | 35.76円 |

II. 差異が生じた理由

当連結会計年度の業績は、第4四半期以降、欧州の景気低迷によりローター事業で、販売減少となり、売上高が減少しました。その結果、売上高につきましては、前回の予想を下回りました。

収益につきましては、売上高減もありましたが、第4四半期以降、国内事業での価格修正、その他合理化による原価低減に努めました。その結果、営業損失につきましては、前回の予想より赤字幅改善となりました。経常損失につきましても、為替差損の計上がありましたが、営業損失改善の影響により、前回の予想より赤字幅改善となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、投資有価証券売却益を特別利益に計上しましたが、減損損失、訴訟損失引当金繰入額を特別損失に計上、法人税等も増加し、前回の予想より赤字幅拡大となりました。

以上